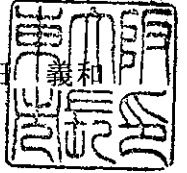


東大阪土道整第 2165 号

平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

東大阪市長 野田 義和



今後の道路行政について意見・提案について（回答）

標記について、別紙のとおり回答いたしますので、よろしくお願い致します。

連絡先

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目 1 番 1 号

東大阪市建設局土木部道路整備課

課長 高戸

担当 角谷

電話 06-4309-3222

FAX 06-4309-3836

今後の道路行政について意見・提案について（摘要）

日頃より東大阪市の道路行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

国道企第37号平成20年9月19日付で送付いただきました標記の件について、下記のとおり公文書を送付させていただきます。

提出文書

1. 今後の道路行政について意見・提案について（回答）

2. 今後の道路行政について意見・提案について（摘要）

3. 様式①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式②

② - 1 地域の現状と抱える課題

様式③

② - 2 地域の目指すべき将来像

様式④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

連絡先

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号

東大阪市建設局土木部道路整備課

課長 高戸

担当 角谷

電話 06-4309-3222

FAX 06-4309-3836

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

大阪府・東大阪市

1. 道路特定財源の一般財源化後の財源の確保

平成 20 年 5 月の閣議決定を受けて、道路特定財源の一般財源化が喫緊の課題となっています。

本市においては、これまで都市計画道路や生活道路の整備、道路の維持補修を実施してきましたが、これらの道路に関する費用を本市に配分されてきた道路特定財源の地方分、補助金・交付金だけでは賄うことができず、一般財源を継ぎ足してきた状況にあります。

一方、地方交付税についても、国の交付税総額の抑制や新型交付税の導入により減少し、本市の一般財源収入が減少する非常に厳しい財政状況にあります。

このため、道路特定財源の一般財源化にあたりましては、これらの厳しい実態を踏まえ、これまで以上の額を本市の財源枠として確保されるよう要望します。

また、一般財源化により財源根拠を失う「地方道路整備臨時交付金」(H20: 4.6 億円)の代替の新型交付金制度の創設をお願いします。

2. 暫定税率失効期間中の補填

平成 20 年 4 月の道路特定財源諸税の暫定税率失効に伴い発生した本市の歳入欠陥に対しては、国の責任において適切な補填を確実に行われるよう要望します。

②-1 地域の現状と抱える課題

大阪府・東大阪市

現 状	課 題
1. 暮らしやすいまちづくり ○平成 17 年度道路交通センサス（大阪府都市整備部）の結果、市内の観測地点 15 箇所のうち、混雑度 1.0 以上が 14 箇所、そのうち混雑度 1.25 以上が 8 箇所に及び、交通渋滞が市内のほぼ全域で発生している。 ○踏切部で朝夕のラッシュ時を中心に交通渋滞が発生している。 ○右折車線の未設置、または、滞留長不足などにより交差点部での交通渋滞が発生している。 ○公共交通については、大阪市内へ向かう放射状の鉄道網は発達しているが、これらを結ぶ南北方向の鉄道網が弱い。 2. 安全安心なまちづくり ○海溝型の東南海・南海地震が 30 年以内に発生する確率は、50～70%である。 ○本市の管理道路にかかる橋梁については、耐震性診断が未実施である。	1. 暮らしやすいまちづくり 1-1 交通ネットワークの形成 ○国道、府道、市道のバランスのとれた道路のネットワーク形成が重要である。 1-2 渋滞の原因となる踏切の除却 ○鉄道の連続立体交差事業により、渋滞の原因となる踏切の除却が必要である。 1-3 円滑な交通の確保 ○右折車線設置・改良等による即効性のある局所的な渋滞対策必要である。 1-4 南北方向の鉄道の整備 ○南北方向の鉄道整備の促進により東西方向の既存の鉄道とネットワーク化し利便性を確保し、過度に自家用車利用に依存しない交通体系を整備することが必要である。 2. 安全安心なまちづくり 2-1 耐震診断・耐震化 ○本市の管理橋梁の耐震性診断を実施し、必要に応じて耐震化を計画的に進める必要がある。

○昭和 30～40 年代の高度成長期に大阪都市圏への急激な人口流入の受け皿として、道路等の都市基盤が未整備のまま建設された木造賃貸住宅の老朽化が進み住環境面の課題はもとより、そのエリアでは狭隘な道路が多く防災上の問題もあるなど都市部に特有の問題を抱えている。

3. 人にやさしいまちづくり

○全国ベースでは高齢者の総人口に占める割合は 20%程度で今後さらに上昇すると見込まれており、本市においてもほぼ同様の傾向にあるとみられる中、歩道等がバリアフリー化されていない箇所が多い。

○本市内の鉄道駅へのエレベーター設置については、鉄道事業者と連携して計画的に進めているが、まだ 100%達成はされていない状況である。

○電線の地中化、街路樹の整備など景観に配慮したまちづくりは、一部のエリアを除き行われている事例がほとんどない状況にある。

○違法屋外広告物など道路環境が阻害されている状況がある。

2-2 老朽化住宅の建替にあわせた防災道路の整備

○老朽化した木造賃貸住宅の建替えにあわせて、避難路、緊急車両の通行、延焼防止に資する道路を整備する必要がある。

3. 人にやさしいまちづくり

○高齢者の増加を前提としたまちづくりに取り組む必要がある。

○鉄道駅など交通結節点については、利便性の向上や移動の円滑化を図ることが必要である。

○ 利便性や安全安心に加えて、景観に優れた質の高い魅力にあふれるまちづくりを進める必要がある。

○ 商店街の活性化や文化・歴史資源、自然環境など地域固有の道路空間の整備が求められている。

②－２ 地域の目指すべき将来像

大阪府・東大阪市

[道路網の整備]

- ・都市の骨格を形成し、円滑な地域間交流を促進する主要幹線道路の整備を推進する。
- ・市街地での都市環境の確保に必要な幹線・補助幹線道路の整備を推進する。
- ・良好な生活環境を形成し、住区内における安全な交通の確保に必要な生活道路などの機能を明確にし、整備に努める。

[都市交通環境の整備]

- ・歩行者などの安全を確保するため交通安全施設の整備に取り組むとともに、道路のバリアフリー化を推進する。

[うるおい環境の創造]

- ・道路等の都市施設と地域の特性を踏まえたまちなみ景観の創出を目指す。

[災害に強いまちづくり]

- ・市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを進めるため、災害を未然に防止できるよう防災面に配慮した都市施設整備、密集市街地の整備など総合的に安全な市街地環境の整備を推進する。

[公共交通の充実]

- ・南北公共交通の強化を図る。
- ・踏切の交通渋滞の解消、事故防止、および鉄道で分断された地域の一体的整備を図るため連続立体交差事業の促進を図る。

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

大阪府・東大阪市

重点事項	代表事例	期待する効果や評価等	その他
○道路ネットワークの形成	○部分開通のみでネットワーク化されていない道路の重点的な整備 * 都計道路大阪生駒線 * 道路大阪瓢箪山線（第二寝屋川～国道 170 号） * 都計道路渋川放出線 * 都計道路山麓線他	・大阪瓢箪山線は本市中央部の東西方向の交通需要に対処する路線であり、近鉄奈良線連立事業と一体的に整備することにより、完成済の河内花園駅前広場、若江岩田駅前広場などと有機的に結合し、アクセスが大幅に改善できる。	
○慢性的な渋滞への対策 ・渋滞対策	・交差点の右折車線の設置、改良等の渋滞対策 * 事業中：国道 170 号被服団地前交差点他 * 事業中：都計道路大阪金岡線 ・南北方向の公共交通の整備 * 一部完成：JR おおさか東線（久宝寺～放出） * 計画：大阪モノレールの本市内への南伸 ・連続立体交差事業の早期完成 * 事業中：近鉄奈良線、大阪外環状線鉄道	・ボトルネックとなっている交差点において、即効性のある渋滞軽減効果が期待できる ・南北方向の公共交通の確保とともに、結節点で東西方向の既存の鉄道とアクセスすることにより、公共交通がネットワーク化され自動車交通からの転換を期待できる。 ・踏切部における交通渋滞はもとより鉄道による市街地の分断が解消されるとともに、側道の整備もあわせると周辺のまちづくりに大きく寄与する。	
・開かずの踏切等の除却			

○安全安心の確保 ・ 耐震対策 ・ 安全、安心な市街地形成 ○暮らしやすいまちづくり ・ 道路環境対策 ・ 高齢化社会へ対応したバリアフリー化 ・ 交通結節点の機能強化	・ 橋梁の耐震性診断及び耐震補強 ・ 密集住宅市街地地区における老朽化した木造賃貸住宅の建て替えとあわせた防災道路の整備 * 事業中箇所：若江・岩田・瓜生堂地区 ・ 電線の地中化、景観に配慮した街路樹の整備 * 本市市役所周辺道路 * 布施駅南道路他 ・ 違法屋外広告物の撤去 ・ 鉄道駅に接続する歩道橋へのエレベーター設置 * J R 片町線徳庵駅 ・ 駅前広場の整備 * 完成：J R 長瀬駅前広場、高井田駅前広場 * 事業中：俊徳道駅前広場、永和駅前広場	・ 地震等災害時の1次避難所に至る経路にかかる橋梁の耐震化により市民の安全・安心の確保に寄与する。 ・ 防災道路の整備は、消防車・救急車の通行路確保など安全・安心な市街地の形成に大きく寄与する。 ・ 電線の地中化や街路樹が整備された本市市役所庁舎周辺においては、良好な都市景観が創出されている。 今後も整備エリアを拡げることにより良好な景観のまちづくりに寄与すると期待できる。 ・ 鉄道駅への円滑な移動ルートを確保する。 ・ 高井田（中央）駅はJ R おおさか東線と大阪市営地下鉄、俊徳道駅、永和駅は JR おおさか東線と近鉄線との乗換駅であり、利用者の円滑な移動ルートの確保が図れる。	
--	---	---	--